

阿蘇の野の花の図鑑

ようこそんせい





ユキワリイチゲ

キンポウゲ科
開花期 3～4月

ユキワリイチゲは、日本固有種で、滋賀県から九州の、林の中や溪流沿いに分布している。名前の、「ユキワリ」は早春植物を、「イチゲ」は、一茎一花を意味している。



オキナグサ

キンポウゲ科

開花期 4～5月

オキナグサは、青森県から、九州までの日当たりのいい草原に分布し、こゆい赤色の花を咲かす。環境省のレッドリストでは、「絶滅危惧Ⅱ類(VU)」に、登録されている。



シュンラン

ラン科

開花期 3～5月

シュンランは、日本各地に分布し、土の中に根を広げる植物で、春に花を咲かせることから、「春蘭」という名前が付いた。別名、「ホクロ」「ババジジ」と呼ばれている。



フクジュソウ

キンポウゲ科

開花期 2～4月

フクジュソウは、日本原産の多年草の花で、野焼き後の草原に、黄色の花を咲かせる。今は、乱獲によって自然の物は、個体数を、減らしている。



フモトスミレ

スミレ科

開花期 4～6月

フモトスミレは、九州・四国・本州の日当たりの良い山地の草原に自生する。全体的に小ぶりで、1～2 cmしかないような小さな葉には、白い紋様が、入っている。



クマガイソウ

ラン科

開花期 4～5月

クマガイソウは、日本・中国・台湾などの、林床や竹林に分布している。環境省のレッドリストでは、「絶滅危惧Ⅱ類(VU)」に、登録されている。



ヒゴイカリソウ

メギ科

開花期 4～5月

ヒゴイカリソウは、熊本県の、草原や原野に花を咲かせる。白い花が、船にのせてある碇に、似ていることからこの名前が付いた。



エヒメアヤメ

アヤメ科

開花期 4～5月

エヒメアヤメは、四国や九州の、草原や原野に自生している。盗掘などにより個体数が減り、環境省のレッドリストでは、「絶滅危惧 1A類 (CR)」に登録されている。



サクラソウ

サクラソウ科
開花期 4～5月

サクラソウは、北海道南部から、九州の高原や、原野に分布している。環境省のレッドリストでは、「絶滅危惧Ⅱ類」だったが、絶滅の危険性が下がり、「準絶滅危惧」になった。



リュウキンカ

キンポウゲ科
開花期 5～7

リュウキンカは、本州や、九州の水辺や湿地に分布している。茎が直立し、黄金色の花をつけることから、「リュウキンカ」と呼ばれるようになった。



レンゲソウ

マメ科

開花期 4～5月

レンゲソウは、中国原産の花で、日本でも、昔から、良く栽培されてきた。花にある蜜は、良い「みつ源」になり、みつ源植物として利用されている。